

ほんかわばし
本川橋

〔地図番号2〕

竣工年月日	1897（明治30）年11月
落橋年月日	1945（昭和20）年9月
架替年月日	1949（昭和24）年

建立者	広島市
-----	-----

設計者	
-----	--



形状

鋼板トラス桁（全長73.2m、幅6.6m）

特記事項

1 猫屋橋

天正年間（1573～1592）、広島城と城下町を築いた毛利輝元の時代に、猫屋九郎右衛門が私財を投じて架橋したことから、猫屋橋と呼ばれていました。（1877（明治10）年の地図では、猫屋橋と記載されていますが、1894（明治27）年の地図では、本川橋となっています。）

2 鉄製トラス橋

1897（明治30）年、鉄製トラスの永久橋に架け替えられました。この鉄橋は、当時最新式の橋で、広島一の繁華街だった中島本町なかじまほんまちと問屋街の堺町筋をつなぎ、広島の新名所になっていました。

3 被爆による損傷と枕崎台風による落橋

爆心地から約410mの地点に架かっており、被爆時、強烈な爆風により橋桁が移動し、橋脚からはずれて部分的に落橋しました。また、橋に取り付けられていた配水管も切断され、給水不能になりました。直後に、板を渡して応急修理されましたが、その年の9月の枕崎台風で完全に落橋し、橋脚だけが残されました。

4 架け替え

1949（昭和24）年、残された橋脚上に、山口県ひかり光市にあったひかり光海軍工廠こうしょうの鋼材を再利用して架け直されました。